

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	アスクさいど保育園（3回目受審）
経営主体(法人等)	株式会社 日本保育サービス
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒233-0008 横浜市港南区最戸1-16-3
設立年月日	平成24年4月1日
評価実施期間	平成26年12月 ～ 平成27年5月
公表年月	平成27年9月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）	
<p>【施設の特徴】</p> <p>・立地・概要 横浜市営地下鉄ブルーライン・京浜急行の上大岡駅から徒歩15分、上大岡の中心商店街から離れたところに所在する3階建ての独立した園舎で、1階の地上と屋上（3階部分）に園庭を有しています。0～5歳児が86人（定員60人）在籍しています。地中熱エネルギー利用の空調システム、太陽光発電システムの省エネルギー設備を持っています。園の周囲には大手エンジニアリング会社の本社工場群、一般住宅、マンションなどがあります。</p> <p>・園の特徴 園目標として、「ひとにやさしく、ものにやさしく、みんななかよし」を掲げ、全職員がその具現化に努めています。 設置法人から派遣される専門家による、リトミック、体操、英語など多様なプログラムが組み込まれて保育が進められています。 職員体制のなかに、看護師1名（常勤）、非常勤職員の用務員2名（主に清掃担当）がいます。</p> <p>【特に優れていると思われる点】</p> <p>1. 穏やかで自主的な子どもの遊びや生活 子どもの遊び方の基本プログラムは一斉活動であっても、実際の進行は子どもがそれぞれのイメージをもって遊んでいて、職員は遊び方の変化を辛抱強く見守っています。 給食やおやつ、排泄のときなども、全体的にゆったりしていてせかせることなく、子どもの発達に応じて自主性を重んじて支援しています。</p> <p>2. 職員の自発的な取り組みを引き出す態勢作り 保育課程に始まって、指導計画などの作成はそれぞれ作成担当職員が決められていますが、内容については園長の指導を受け、職員会議、不定期のミーティングなどで話し合わせお互いに評価反省しています。とくに、職員で話し合っただけで決めた園目標の実現のために、保育課程を丁寧に具体的にまとめています。 職員会議の議題は、職員に募集して決めており、会議の進め方、議事録作成者も職員が自主的に決めています。 常勤職員と非常勤職員の業務分担能力の差別なく、だれでも同じ技能レベルを持つように要求さ</p>	

れ、課題解決のために誰でも発言できるようにしています。そのために園内の情報は全職員に行き渡るよう、職員会議に出席していない非常勤職員だけの会議なども開催されています。

3. 地域の子育て支援「にこにこくらぶ」の運営

地域子育て支援活動「にこにこくらぶ」を月に1回実施しています。「にこにこくらぶ」のポスターを門に掲示したり、港南区子ども家庭支援課発行の「保育園に遊びに来ませんか」の冊子に「にこにこクラブ」の予定を掲載したり、積極的にPRしています。活動内容は園庭開放、親子ふれあい体操、季節の製作、手遊び、栄養士による栄養相談、育児相談などで、毎月2～10組の参加があります。参加者からアンケートを取り、地域子育て支援のニーズを把握しております。毎月の担当職員は実施後反省会を開き、次の担当者へ課題を引き継いでいます。参加者からは「園児と一緒に遊んでもらってよかった。育児相談など専門家の話が聞いてよかった」などの感想が寄せられています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1. 自然に触れる戸外活動の強化

園に付属の園庭がある程度整っていることと、散歩に適したコースや外部の公園に恵まれないこともあって、自然に触れる戸外活動が少なくなっています。園の周囲の道路は歩道もなく、子どもを連れ出すのは、自動車交通の安全面から考えると、リスクが高い点がありますが、小規模な遠足をするなどで、子どもが自然の中で思いっきり活動できる機会を増やすことが望まれます。

2. 送迎時の保護者との会話の充実

送迎時に保護者に対応する職員のため、保育日誌、担任伝言表、延長日誌などに引き継ぎ情報を記載していますが、送迎時の子どもが重なり合ったときは、確実に伝えなければならない事項以外、簡単に健康状態を伝えることにとどまっています。保護者は自分の子どもからの言葉以外に職員からのその日の子どもの様子を聞きたいとの思いが保護者アンケートでもうかがわれますので、送迎時の保護者との会話の一層の充実が望まれます。

3. 自己評価の公表

自己評価については、これまでは保護者に開示されることはありませんでしたが、今年度の計画では、公表方法を検討して、園としての自己評価の内容を公表しようとしています。計画通りの実施が期待されます。

評価領域ごとの特記事項

1.人権の尊重	<ul style="list-style-type: none">・職員は強制したりせかしたりせずに、穏やかに声かけしたり、着替えでは自分でできることは自分でやるよう見守るなどして、子どものペースを尊重しています。・子どもとは必要に応じて、事務室や相談室などで1対1でゆっくりと話し合うことができます。・守秘義務の意義や目的は入社時の研修で周知し、全職員が誓約書を提出しています。・設置法人が作成している「個人情報管理規程」があり、入社時、職員に周知を図っています。・ホームページへの子どもの写真の掲載について、保護者の承諾を毎年得ています。
----------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・園で使用する持ち物は男女共通で、生活発表会での劇の役割でも性別による区別はしていません。
<p>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前面接で保護者に提出してもらう生育歴、既往症、食事、アレルギー、家庭の状況は個別ファイルにしており、職員はいつでも見て、把握できるようにしています。 ・ならし保育は、新入园児のみでなく、保護者の不安を取り除くことも目的にしており、期間や時間帯は保護者と相談しながら進めます。 ・0～2歳児には個別の連絡ノートがあり、その日の子どもの様子などを細かく保護者と記載しあって、連携を密にしています。 ・3歳児以上はクラスノートにて1日の様子を保護者に伝えていきます。成長記録は個人のシール帳に記録して伝えていきます。 ・各クラスの年間・月間指導計画、週案は、保育課程に基づいて、担任が作成し、評価反省を行っています。 ・3歳未満児については個別指導計画を作成しており、幼児についても特別な課題や支援が必要な子どもには作成する仕組みがあります。 ・園内はマニュアルにしたがい、毎日清掃し、漏れが無いようにチェック表を付けています。 ・各保育室に温・湿度計を備え、午前・午後計測し、日誌に記録しています。温度はエアコンで調節し、湿度は加湿器などで対応しています。 ・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れるために、職員の能力を高める必要な研修を受講したり、実際的な手法について職員間で話し合っ共有しています。
<p>3.サービスマネジメントシステムの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要望、苦情受付の担当者は園長と主任であり、玄関に掲示しています。苦情対応マニュアルにも、解決責任者は園長であることを明記しています。 ・苦情などがあった場合、対応の内容をクレーム受理票に記入し、直ぐに職員会議を開き、解決策を話し合い、全職員が対応できるようにしています。 ・行事後や学年末のアンケートは要望も集めているので、ファイルして振り返りを行い、次につなげています。 ・玩具は子どもが自分で取り出しやすい高さの棚に置き、種類別に分けて片づけやすいように工夫しています。 ・幼児クラスには、粘土、自由画帳、画用紙、廃品などいろいろな素材や道具を置き、自由に使用できるようにしています。 ・リトミックのとき、幼児クラスを3つのチームに分けて異年齢（縦割り）で行ったり、また、5歳児が中心になって全園児で買いものごっこをするなど、異年齢児保育を設定しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天気がよければ毎日園庭で遊ぶようにし、なわとび、かけっこ、ボール遊びなど年齢や発達に応じて身体を動かして遊んでいます。 ・ 園では「楽しく食事をする事」を大切にして、少食の子どもは量を減らして完食できる喜びを持つようにし、苦手なものを頑張って食べられたときはほめるようにしています。 ・ 毎月行われる給食会議で子どもの喫食状況や味付け、食材の切り方、給食提供時間、翌月の食育などについて話し合い、調理方法、味付けなどを工夫しています。 ・ 午睡のとき、0歳児は5分おき、1歳児は10分おきにタイマーを利用して呼吸のチェックをしています。うつぶせになっていた場合はすぐに仰向けに寝かせるようにしています。 ・ 登園時は保護者から子どもの健康状態を確認し、視診を行うようにしています。 ・ 各保育室内の収納棚やローカーは金具で固定したり、チェーンを活用したり、収納棚の扉には安全フックをつけるなどの転倒防止策を講じています。 ・ 消防訓練計画を基に、火災・地震・津波・竜巻などを想定し、想定場所や想定時間を変えて、毎月消防訓練（避難・消火・通報訓練）を実施しています。 ・ 保護者には、年度初めの保護者会で園長より基本方針について説明しています。
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域子育て支援活動「にこにこくらぶ」のポスターを掲示し、地域住民に参加を呼びかけています。「にこにこくらぶ」の参加者にアンケートを実施し、園に対する要望やニーズを把握するよう努めています。 ・ 地域子育て支援活動として「にこにこくらぶ」を毎月実施し、園庭開放、育児相談、栄養相談、親子ふれあい体操や製作、手遊びなどを行っています。「にこにこくらぶ」は毎月担当者を決め、実施後は反省会を行い、参加者からのアンケートの要望などをその後の支援に活かしています。 ・ 保育園の行事を近隣のマンションや地元企業に案内を出して招待しています。 ・ 地震発生時の津波避難場所として、園の向かいの会社ビルの屋上をえるよう依頼しています。 ・ クッキング保育で使う食材は地域のスーパーに子どもと一緒に買って買っています。 ・ 園見学については、随時受け付けていることを園の門に掲示しています。見学の申し出時には、希望日時に沿うよう努めています。
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置法人にコンプライアンス部門があり、職員の不正・不適切な行為をチェックできる体制があります。さらに職員は、入社時の研修によって、組織や職員



	<p>の不正にかかわる法の遵守について周知徹底されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の中長期の視点は、日常の園運営の改善に絞られており、外部環境の変化に備えた新たな仕組みを検討しているものではありません。このテーマについては設置法人で検討しています。 ・横浜市からの情報は回覧して情報を共有し、事故防止に関わる事項については、職員間で話し合い、園の状況を把握して対応するようにしています。 ・園の重要事項については、行事や保護者会などで、保護者の意見を聞きコミュニケーションを図って、園の意図を理解してもらうようにしています。
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社員は年2回の査定で自己評価を行い、目標達成状況を見直しています。また、毎年実施する第三者評価における自己評価を園の自己評価と位置づけ、全職員が自己評価に取り組み、気づきを抽出しています。 ・設置法人として次代を担う幹部職員については、園長研修などで計画的に育成しています。 ・改善課題がある場合は、職員全員に周知し取り組むようにしています。 ・職員の経験・能力に応じた研修計画が設置法人の研修担当部門で策定されていて、その内容は職員にも明示されています。 ・個々の職員の経験や能力を把握して、フロアーリーダー、クラスリーダー、行事担当リーダーなどの役割を決めており、それぞれ権限を委譲しています。

評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の4項目からなる運営理念と子どもの「自ら伸びようとする力」「後伸びする力」「五感で感じる保育」の充実を基本方針として掲げており、子ども本人を尊重したものとなっています。 ・社員は入社時の研修などで基本方針の説明を受け、周知しています。非常勤・派遣社員は配属ごとに園長の説明を受けています。 ・保育課程は、保育の理念、基本方針をまず掲げて、保護者の実態に沿って、子どもや家庭の状況、保育時間などを考慮し、子どもの育ちに関する長期的な見通しをもって編成されています。 ・保育課程に基づき各年齢ごとに前年度の反省をふまえた年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。 ・子どもの自主性や主体性を育てるために、全クラスその日の子どもの状況に合わせ無理なく保育を行うようにすることを原則とし、クラス担任以外が保育に入る環境を作り意見を聞いたり、職員間で話し合ったりしながら計画の評価反省を随時行えるようにしています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に保護者と個別面談を行っています。子どもにも来てもらい、遊んでいる様子を観察しています。 ・入園前面接で保護者に提出して頂く、生育歴、既往症、食事、アレルギー、家庭の状況は個別ファイルにしており、職員はいつでも見て、把握できるようにしています。 ・ならし保育は、新入園児のみでなく、保護者の不安を取り除くことも目的にしており、期間や時間帯は保護者と相談しながら進めます。 ・0～2歳児には個別の連絡ノートがあり、その日の子どもの様子などを細かく保護者と記載しあって、連携を密にしています。 ・3歳児以上はクラスノートにて1日の様子を保護者に伝えています。成長記録は個人のシール帳に記録して伝えています。3～5歳児でも保護者が希望すれば、連絡ノートを使用して情報のやりとりができます。 ・気になることがあれば、ノートでなく、口頭で直接話し合うようにしています。 ・各クラスの年間・月間指導計画、週案は、保育課程に基づいて、担任が作成し、評価反省を行っています。 ・0～2歳児クラスは一人一人の発達を見ながら、個別の月間指導計画を作成しています。状況に応じて担任だけでなく、ほかの職員と話し合っって評価反省を行っています。

I-3 快適な施設環境の確保



・園内はマニュアルにしたがい、毎日清掃し、漏れが無いようにチェック表を付けています。清掃は用務員が主として行っていますが、汚れたときにはその都度職員がきれいにしていきます。

・保育室は空気清浄器、24時間自動換気システム、定期的窓を開けるなどで換気を行っています。トイレや保育室の一部の壁は臭いや湿気を防ぐ材料を使用しています。

・各保育室に温・湿度計を備え、午前・午後計測し、日誌に記録しています。温度はエアコンで調節し、湿度は加湿器などで対応しています。

・保育室は大きな窓があり、陽光を取り入れる環境になっていますが、直射日光の強い部屋はカーテンを使用して制限することもあります。

・1階に温水沐浴槽があり、2階に温水シャワー設備が完備しています。沐浴、シャワーの清掃、消毒は職員がマニュアルに沿って行っています。

・乳児クラスは活動に合わせてスペースを分けたり、人数を分けたりして、小集団保育が実践できるようにしています。幼児クラスは寝る、食べるの場所を決めています。

・お誕生会、季節の行事を全クラスで行ったりしています。朝夕の合同保育の場は異年齢児間の交流の場となっています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



・3歳未満児については個別指導計画を作成しており、幼児についても特別な課題や支援が必要な子どもには作成する仕組みがあります。

・個別の指導計画は担任が作成していますが、担任以外がクラスに入って、気付いた点を話し合いながら作成、評価反省しています。

・離乳食の進め方、トイレトレーニングでは保護者の意見を取り入れながら個別指導計画の作成や見直しを行っています。

・年度末には、年長児の就学する小学校に保育所児童保育要録を郵送しています。小学校単位で子どもの育ちをスムーズに支援するよう口頭での情報交換をするときもあります。

・入園時に把握した生育歴を始め、入園後の子どもの成長発達記録は、児童票、健康調査票、身体測定表に記録し、個別にファイルしています。記録内容は書庫に保管し、全職員が共有できるようにしています。

・進級時には、個別ファイルを基に、新旧の担任で申し送りを行っています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

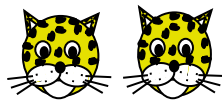


- ・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れるために、職員の能力を高める必要な研修を受講したり、実際の手法について職員間で話し合っ共有しています。
- ・個別のケースについては職員会議などで話し合い、その子の対応の仕方や課題を共有しています。
- ・園内はバリアフリー構造になっており、門から玄関まではスロープになっており、室内も段差がなく、エレベーターが設置されています。1階のトイレは手すりがあります。
- ・認定児でない障がいを持つ子どもに対し、保護者の同意を得てよこはま港南地域療育センター、設置法人の発達支援チームから情報を得られるようにしています。
- ・虐待防止マニュアルを全職員で確認しています。毎朝、登園時に視診を行っています。さらに1日1度は視診をし、状況によっては関係機関に連絡しています。
- ・アレルギーのある子どもについては入園前に確認しています。食物アレルギーがある子どもには、医師の除去の内容指示書を提出してもらっています。
- ・アレルギー食の提供は、園内で研修を受け、知識の確認や提供の仕方を理解するまでは担当させないよう徹底しています。
- ・アレルギー対応食の提供は、職員が2重のチェックを行い、誤食防止を徹底しています。
- ・保護者が外国籍の場合、簡単な伝言は絵カードやジェスチャーを用い、意思疎通が困難な場合は、通訳してくれる人に頼んでいます。職員はその国の文化や生活習慣の違いを自己啓発で学び、理解するように努めています。

評価分類


評価の理由（コメント）

I-6 苦情解決体制



- ・要望、苦情受付の担当者は園長と主任であり、玄関に掲示しています。苦情対応マニュアルにも、解決責任者は園長であることを明記しています。
 - ・第三者委員2名の氏名と連絡先を「入園のご案内」（重要事項説明書）に明記し、苦情申し立てのフローチャートを玄関に掲示しています。第三者委員を行事に招き、園の様子を知らせ対応しやすい関係を築くようにしています。
 - ・玄関に意見箱を置き、行事後や学年末に保護者アンケートを行い、意見や要望の把握に努めています。
 - ・苦情・要望申し出の外部の窓口として、港南区こども家庭支援課の連絡先を「入園のご案内」に掲載し、入園説明会でも説明しています。
 - ・園のみで解決できない場合は設置法人本部や港南区こども家庭支援課と連携して対応しています。
 - ・苦情等があった場合、対応の内容をクレーム受理票に記入し、直ぐに職員会議を開き、解決策を話し合い、全職員が対応できるようにしています。
 - ・行事後や学年末のアンケートは要望も集めているので、ファイルして振り返りを行い、次につなげています。
- <コメント・提言>
- ・苦情申し出窓口としては、横浜市福祉調整委員会のような他機関があることを掲示などで表明されることが望まれます。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="193 226 517 257">Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none">・玩具は子どもが自分で取り出しやすい高さの棚に置き、種類別に分けて片づけやすいように工夫しています。・遊具の購入は職員の意見や子どもの希望により決め、年齢や発達に応じたふさわしい遊具を用意しています。玩具の大きさには十分に配慮し、小さな玩具は年齢の低いクラスには置かないようにしています。・幼児クラスには、粘土、自由画帳、画用紙、廃品などいろいろな素材や道具を置き、自由に使用できるようにしています。・自由遊びは、主に朝夕の合同保育のときに行われています。・子どもの興味を持った絵本から劇遊びにつながり、生活発表会で演じた後も、自分の役だけでなく友だちの役も演じて楽しんでいます。・各保育室には手作りのスカート、布、袋、人形、布団、かごなどの小道具を多く用意しており、子どもたちは自由にごっこ遊びを楽しんでいます。・1歳児以上のクラスは園庭の畑やプランターで栽培活動をし、製作やクッキング保育につなげています。・子ども同士のけんかでは、職員は年齢により子どもの思いを代弁したり仲立ちしたりして、子ども同士で納得して解決できるようにしています。・リトミックのとき、幼児クラスを3つのチームに分けて異年齢（縦割り）で行ったり、また、5歳児が中心になって全園児で買い物ごっこをするなど、異年齢保育を設定しています。・園目標に「ひとにやさしく、ものにやさしく、みんななかよし」を掲げ、職員は子どもの気持ちを大切に、否定的な言動を避けるように努めています。・天気がよければ毎日園庭で遊ぶようにし、なわとび、かけっこ、ボール遊びなど年齢や発達に応じて身体を動かして遊んでいます。 <p data-bbox="722 1173 963 1205"><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none">・公園がやや遠く、交通量も多いという環境から散歩に行っ

II-1 保育内容[生活]



- ・園では「楽しく食事をする事」を大切にして、少食の子どもは量を減らして完食できる喜びを持つようにし、苦手なものを頑張って食べられたときはほめるようにしています。
- ・授乳は個別に担当の職員を決めて、その子どもに合った時間やリズムに合わせて、抱っこして与えています。
- ・クッキングは2歳児3月から取り入れ、クッキー、じゃがいもの餅づくり、味噌汁、米とぎ、恵方巻きなどを作っています。
- ・月1回のランチメニューのときは全クラスで一緒に食べたり、バースデイケーキは子どもが興味のあるキャラクターにして楽しい雰囲気となるよう工夫しています。
- ・毎月行われる給食会議で子どもの喫食状況や味付け、食材の切り方、給食提供時間、翌月の食育などについて話し合い、調理方法、味付けなどを工夫しています。
- ・給食だよりは、園独自で保護者に伝えたいレシピや旬の食材、子どもの様子などについて記載しています。
- ・年に1回、日曜日に給食試食会を行い、保護者に給食を食べてもらっています。栄養士が献立や栄養の話をしたり、年齢ごとに保育士が園での食事の様子、食事のマナー、食具の持ち方、アレルギー食の対応など園の取り組みを説明しています。
- ・午睡のとき、0歳児は5分おき、1歳児は10分おきにタイマーを利用して呼吸のチェックをしています。うつぶせになっていた場合は、すぐに仰向けに寝かせるようにしています。
- ・5歳児は就学に向けて11月ごろより午睡時間を減らしています。午睡をしない子どもはひらがなの練習をしたり、ゲーム遊びなどをして過ごしています。
- ・トイレトレーニングは保護者と連携を図りながら、無理強いせずにおすすめ、子ども一人一人のペースに合わせています。2歳児クラスはトイレチェック表を活用して排泄リズムを把握して個別対応しています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・登園時は保護者から子どもの健康状態を確認し、視診を行うようにしています。特記事項は「担任伝言表」に記録して引き継いでいます。
- ・入園時に既往症や予防接種歴、アレルギーなどを把握し、新入園児の健康にかかわる情報は職員会議で共有をしています。入園後は年度末に「健康調査票」を保護者に渡して更新したり、口頭で伝えてもらっています。
- ・園には看護師を配置しており、毎日、朝・昼に各クラスを巡回しています。また、定められたタイミングで身体測定を行っています。
- ・歯磨きは1歳児1月ごろから始めています。0、1歳児は食後にお茶を飲むようにし、仕上げ磨きは4歳児まで行っています。5歳児は必要に応じて職員が仕上げ磨きをしています。
- ・健康診断、歯科健診の結果は文書により保護者に伝え、医師からの所見がある場合には受診を促しています。
- ・「感染症・食中毒対応マニュアル」には、登園停止基準や感染症、感染経路、感染症対策などについて明記されています。保護者に配付する入園のご案内（重要事項説明書）には、登園許可書（治癒証明書）が必要な感染症、予防接種などについて明記し、入園前説明会や保護者会で説明しています。
- ・感染症マニュアルの見直しがあった場合は、昼会議で職員へ周知しています。非常勤職員には別の日を設けて会議で伝えています。
- ・感染症に関する最新情報はサーベイランスシステムにより得ており、感染症が一人でも発生した場合は、速やかに玄関に掲示しています。クラス名も明記し、そのクラスの保育室にも掲示しています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]





- ・設置法人が作成している「衛生マニュアル」があり、各園からの意見により、定期的に見直されています。マニュアルが見直されたときは速やかに昼会議で周知を図っています。
- ・職員は採用時にマニュアルについて研修があり、採用後もマニュアルを読み、手洗い・嘔吐物処理について「衛生マニュアルレポート」を書いて提出しています。
- ・各保育室には写真入りで説明した「嘔吐物の処理」「手洗いの手順」を掲示しています。トイレの棚には用途別の雑巾やバケツなどの清掃用具を整備しています。
- ・清掃は基本的には用務員が衛生マニュアルに従っていますが、食後や夕方は職員も清掃を行い、清掃チェック表に記録しています。おもちゃの消毒は毎日行い、ぬいぐるみは1週間に1回洗濯しています。



II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[安全管理]



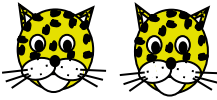
- ・設置法人作成の「事故防止・対応マニュアル」があり、見直しがあったときは昼会議などで全職員に周知を図っています。
 - ・各保育室内の収納棚やロッカーは金具で固定したり、チェーンを活用したり、収納棚の扉には安全フックをつけるなどの転倒防止策を講じています。
 - ・災害マニュアルは園独自のマニュアルを整備して必要に応じて見直しをしています。
 - ・消防訓練計画を基に、火災・地震・津波・竜巻などを想定し、想定場所や想定時間を変えて、毎月消防訓練（避難・消火・通報訓練）を実施しています。避難訓練の時間は抜き打ちで行うこともあります。
 - ・津波発生を想定し向いの会社のビルの屋上への避難をお願いしているほか、災害時に近隣の方や会社からサポートを受けられるよう話し合いをし、日頃から行事に関係者を招待するなどして保育園を知ってもらうよう努めています。
 - ・小さなケガであっても、「担任伝言表」に記録し保護者に伝えるよう努めています。
 - ・毎年8月に、自園で日本赤十字の幼児安全法支援員講習を実施しています。園では非常勤職員を含め全員の取得を目指しています。
 - ・玄関は電子錠で施錠し、保護者は専用カードキーを使用しており、その他の来園者に対してはモニターで確認してから開錠しています。
- <工夫している点>
- ・アクシデントレポートにはかみつきや小さいケガであっても記録し、毎日ヒヤリハットを付箋に記録し、クラス別に保育士室に掲示しています。ヒヤリハットは全職員が読んでファイルに保管しています。
 - ・毎月防犯訓練を実施し、振り返りをして訓練方法を替えています。防犯訓練は職員からの意見で始まり、職員が順番に不審者の役になりさまざまな場合を想定して行っています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>II-3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対して、呼び捨て・あだ名を使わないなどについて職員会議で確認しています。不適切な対応や声かけに気づいた場合は、職員・非常勤職員の別なく職員同士で注意をし合おう努めています。 ・園では、「職員が大きな声で話すと子どもも大きな声になる。子どもには穏やかに話す」ことを共有しています。 ・職員は強制したりせかしたりせずに、穏やかに声かけしたり、着替えでは自分でできることは自分でやるよう見守るなどして、子どものペースを尊重しています。 ・子どもとは必要に応じて、事務室や相談室などで1対1でゆっくりと話し合うことができます。 ・守秘義務の意義や目的は入社時の研修で周知し、全職員が誓約書を提出しています。職員会議で個人情報について具体的に話し合い、振り返る機会を持っています。 ・設置法人が作成している「個人情報管理規程」があり、入社時に周知を図っています。非常勤職員にもマニュアルについて確認してもらっています。 ・ホームページへの子どもの写真の掲載について、保護者の承諾を毎年得ています。 ・個人情報に関わる書類はすべて施錠できる書庫に保管しています。 ・園で使用する持ち物は男女共通で、生活発表会での劇の役割でも性別による区別はしていません。 ・子どもに対する関わりや声かけで無意識に行っている性差別に気づいた場合は、職員同士で伝えあうようにしています。
<p>II-4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には、年度初めの保護者会で園長が基本方針について説明しています。 ・主な行事後にはアンケートを実施し、行事の感想や意見、要望などから保育方針が理解されているかどうかを把握しています。 ・年度末の保護者アンケートでは、子どもの戸外遊び、おもちゃについて意見があり、年度初めの保護者会で園からの対応について説明しています。 ・玄関には設置法人の運営理念のほか、園目標を大きな文字で掲示しています。 ・全クラスに「担任伝言表」があり、園から家庭への連絡の欄には子どものケガや体調変化について記載し、担任以外の職員からも保護者に伝えられるような仕組みがあります。 ・個別面談は年2回実施し、内容を「個別面談記録」に残しています。2週間の期間を設けて保護者の希望の日時で行っています。 ・クラス懇談会は年2回（4月と3月）に行い、担任より保育課程、保育目標、クラスの様子などを伝えています。 ・保護者との相談は相談室や保育室で行い、プライバシーに配慮しています。 ・保育参観、保育参加は年4回行い、6月と1月は1週間ほどの期間を設けて行っています。9月には祖父母参観を、8月にはプール参観を行っています。 ・保護者会組織はありませんが、運動会などの行事の準備を保護者に協力してもらっています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものその日の様子は連絡帳や口頭で伝えるよう努めていますが、保護者の満足度がやや低い状況となっています。送迎時によりきめ細かく伝えるような配慮が期待されます。 ・運動会などの行事の準備で保護者とのコミュニケーションはありますが、今後は保護者同士のつながりをもっと持って自主的な活動ができ、職員とも意見交換できることが望まれます。

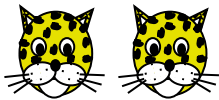
評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援活動「にこにこくらぶ」のポスターを掲示し、地域住民に参加を呼びかけています。「にこにこくらぶ」に参加いただいた際にアンケートを実施し、園に対する要望やニーズを把握するよう努めています。 ・平成25年7月より未就園児と保護者対象の地域の子育て支援「にこにこくらぶ」を毎月実施し、保育士や栄養士による育児相談、栄養相談を行っています。 ・園長が港南区認可保育園園長会に、5歳児担任が幼保小実務担当者会議などに参加して地域子育て支援ニーズを把握するよう努めています。 <p><工夫している事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援活動として「にこにこくらぶ」を毎月実施し、園庭開放、育児相談、栄養相談、親子ふれあい体操や製作、手遊びなどを行っています。「にこにこくらぶ」は毎月担当者を決め、実施後は反省会を行い、参加者からのアンケートの要望などをその後の支援に活かしています。
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援「にこにこくらぶ」、「子育て相談」のポスターを門に掲示し、育児相談、栄養相談を行っています。「にこにこくらぶ」の参加者には園のパンフレットも配付しています。 ・「にこにこくらぶ」の相談内容は記録をしてファイルしています。 ・「にこにこくらぶ」の実施日を掲示したり、港南区こども家庭支援課発行の「保育園に遊びに来ませんか？」の冊子に予定を記載し、玄関に置いています。 ・港南区福祉保健センター、港南区こども家庭支援課、児童センター、医療機関、児童館、児童相談所、小学校などをリスト化した「地域の社会資源一覧」を事務室内に掲示しています。 ・港南区こども家庭支援課、横浜市南部地域療育センター、よこはま港南地域療育センターなどとは必要に応じて連携を図っています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の行事を近隣のマンションや地元企業に案内を出して招待しています。 ・港南区の春フェスティバルに毎年5歳児が近隣の保育園児と一緒に参加し、交流を行っています。 ・地域の方2名にボランティアとして、手品やサンタクロースの役をしていただきました。 ・地震発生時の津波避難場所として、園の向かいの会社ビルの屋上をお願いしています。 ・5歳児は地下鉄を利用して、湘南台文化センターに出掛け、館内で自由遊びをしてきました。 ・クッキング保育で使う食材は地域のスーパーに子どもと一緒に買って買っています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが園の行事として、地域に出掛けて行って交流することで、子どもたちの経験の幅を広げることが期待されます。

IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- ・設置法人が管理しているホームページに園情報を載せ、園の様子を示す情報を年に数回更新しています。
- ・港南区家庭支援課に園のパンフレットを常時置いて、自由に持ち帰りできるようにしています。
- ・園の基本姿勢・サービス内容等の詳細については、パンフレットや重要事項説明書に記載し、園見学者や問い合わせの説明資料としています。
- ・園見学については、随時受け付けていることを園の門に掲示しています。見学の申し出時には、希望日時に沿うよう努めています。

<コメント・提言>

- ・園の情報は街の広報誌などに載せることで、広く伝えられる可能性が期待されます。

IV-3 ボランティア・実習の受け入れ





- ・ボランティア受け入れのマニュアルは整えられており、ボランティアを始めるにあたって、オリエンテーションで、園の方針などを説明しています。
- ・地域の方には、カブトムシ、クワガタを数匹いただき、職員と子どもたちと一緒に飼育したり、クリスマス会には手品やサンタクロース役をやらせてもらっています。
- ・実習生を受け入れるときは、マニュアルに従ってオリエンテーションを行って、園の基本姿勢を説明し、子どもたちへの安全・安心上の配慮をはじめ、基本事項を徹底しています。また、個人情報に関する誓約書を提出して頂いています。
- ・実習生が決まったときは、職員および子どもたちにも徹底周知し、保護者にも掲示して伝えるようにしています。
- ・実習期間中は、担当職員と実習生が振り返りができるような時間を設けて、実習生の意見、感想を聞くようにしています。

<コメント・提言>

- ・ボランティアなどの外部の人たちの意見などを積極的に集めて、園業務推進に役立てることを期待します。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="185 235 507 264">V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な人材の補充は園長より設置法人に向けて要請されていますが、十分な配置となっていません。 ・理念をふまえた保育を実践できるよう日常心がけており、指導計画作成時はもちろん、行事計画時には理念に沿っているか考えることでも職員の意識向上につながっています。 ・職員は自己の資質向上のため計画的に研修に参加しており、園長は個人面談で職員の自己査定を評価し、研修も含めた目標設定を正しく行われるよう指導しています。 ・研修受講後は必ずレポートを提出し、園内に回覧し、必要と認めた研修は職員会議で発表しています。 ・設置法人で作成された業務マニュアルは、全職員は誰でも見られるように保管されています。実際の保育を進めるとき、問題があればマニュアルを見ながら確認し合うようにしています。 ・非常勤職員にも職員と同じレベルのスキルを持つように求めています。例えば、幼児安全法の講習会を受講し、資格取得をしてもらっています。また、非常勤職員は会議議事録は必ず読み、別途昼ミーティングを実施して、資質向上に努めています。 <p data-bbox="721 857 975 887"><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任が保育に担任としての業務に当たっており、園長が主任業務を補っている実態の改善を望みます。




評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="185 1151 533 1180">V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・社員は年2回の査定で自己評価を行い、目標達成状況を見直しています。また、毎年実施する第三者評価における自己評価を園の自己評価と位置づけ、全職員が自己評価に取り組み、気づきを抽出しています。 ・法人内の保育園で実施された工夫・改善した事例は、園長会議で報告され、その内容は職員会議で周知されています。 ・指導計画の年間指導案、月案、週案、および日誌のフォーマットに評価反省欄があり、それぞれ担当職員は評価し、ねらいと関連付けて、翌期につなげるようにしています。 ・行事については、実施後、保護者にアンケートを行い、保護者の意見をまとめ、さらに、職員による反省会も実施し、翌年の行事計画に反映しています。 ・各職員の自己評価の結果は、その都度昼ミーティングで話し合われています。自己評価の結果からの課題は中長期計画に結びつけられています。 ・第三者評価のためにまとめられた自己評価結果は、これまで保護者に開示されることはありませんでした。 <p data-bbox="721 1742 975 1771"><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の公表については、3月末で行う予定をしていますので実現するよう期待します。

V-3 職員のモチベーションの維持



- ・職員の経験・能力に応じた研修計画が設置法人の研修担当部門で策定されていて、その内容は職員にも明示されています。
- ・個々の職員の経験や能力を把握して、フロアーリーダー、クラスリーダー、行事担当リーダーなどの役割を決めており、それぞれ権限を委譲しています。
- ・経験の少ない職員、非常勤職員も意見を出しやすい環境にしています。たとえば、職員会議の議題もだれでも提案できるようになっています。
- ・園長は定期的に職員との個人面談を行い、職員からの要望などを聞いています。勤務状況に関するアンケートをとって意見をまとめ対応するようにしています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人にコンプライアンス部門があり、職員の不正・不適切な行為をチェックできる体制があります。さらに職員は、入社時の研修によって、組織や職員の不正にかかわる法の遵守について周知徹底されています。 ・内外の施設での不正があった情報は、園長会議で報告され、園内に周知されています。テーマによっては職員にレポートの提出を求め、理解の徹底を図っています。 ・職員は水筒やマイ箸を持参したり、ゴミの分別を行い、ゴミの減量化、リサイクルに積極的に関わっています。 ・地中熱エネルギーを利用した空調システムを利用したり、太陽光発電システムを設置して、省エネルギーに貢献しています。また、節電を意識するために、スイッチに節電シールを貼ったり、職員の部屋に節電対策を掲示したりしています。 ・園目標に「ものにやさしく」という項目を掲げ、物を大切にすることに園をあげて推進しています。ダンボールを利用したおもちゃ箱の作成、保護者に呼びかけてエコキャップの収集、ペットボトルや不要になった子どもの衣類を提供してもらうなどを行っています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議などで園長から保育理念の周知徹底について話したり、職員に抜き打ちで質問を投げかけ、理解の度合いを確認しています。 ・保育や行事で、問題があるときは、職員の話し合いで理念に添って解決するようにしています。 ・園の重要事項については、行事や保護者会などで、保護者の意見を聞きコミュニケーションを図り、園の意図を理解してもらうようにしています。 ・設置法人の組織として、企画担当部門、複数の園を管理指導するエリアマネージャー制度があり、園で解決できない課題については、全社的な視点で解決しています。 ・認可法人としての研修コースには主任育成のプログラムは用意、確立されていますが、園の主任は未受講となっています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な人材が満たされていないため、主任が本来の業務をできない状況です。要員の強化や職員の育成によって、業務体制の充実を期待します。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市からの情報は回覧して情報を共有し、事故防止に関わる事項については、職員間で話し合い、園の状況を把握して対応するようにしています。 ・設置法人内の園長会議や園長研修で得た情報は、園ではどのようになっているか話し合っています。 ・改善課題がある場合は、職員全員に周知し取り組むようにしています。 ・中長期計画は設置法人が定めたフォーマットにしたがって作成しています。 ・園の中長期の視点は、日常の園運営の改善に絞られており、外部環境の変化に備えた新たな仕組みを検討しているものではありません。このテーマについては設置法人で検討しています。 ・設置法人として次代を担う幹部職員については、園長研修などで計画的に育成されています。 ・設置法人としては、常に外部の専門家の意見を取り入れるようにしています。

利用者家族アンケート

H26年度 アスクさいど保育園

結果の特徴

◇調査対象

全世帯数 72世帯、うち回答数 44世帯、回収率 61.1%でした。

◇調査方法

全世帯にアンケート用紙を園より配付、約2週間をめぐり無記名、密封の状態での回収箱に入れてもらい、評価機関が回収し集計しました。

◇総合満足度

「満足」が55%、「どちらかといえば満足」が34%、その合計は89%であり、高い評価となっています。一方で「不満」が4%、「どちらかといえば不満」が7%、合計で11%ありました。

◇比較的満足度の高い項目

1. 理念や方針への共感について、「共感できる」「まあ共感できる」の合計が100%となっています。
2. 給食のメニューの充実について、「満足」「まあ満足」の合計が100%の回答で、高い評価を得ています。
3. お子さんが給食を楽しんでいるかについて、「満足」「まあ満足」の合計が100%となっており、前項の質問とともに、給食については高い評価を得ています。
4. 基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについて、「満足」「まあ満足」の合計が100%となっています。園での取り組みについて高い評価を得ています。
5. 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について、「満足」「まあ満足」の合計が100%となっています。
6. 保護者からの相談事への対応について、「満足」「まあ満足」の合計が100%となっており、園での対応が評価されています。
7. あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて、「満足」「まあ満足」の合計が100%となっています。保護者のほとんどが、子どもが保育園生活を楽しく過ごしていると評価しています。

◇比較的満足度の低い項目

1. 基本理念や基本方針の認知について、56%が「あまり知らない」「どちらともいえない」と回答しています。保護者に運営理念や保育方針の理解をしてもらうための方策が必要です。
2. 年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているかについて、17%が「不満」「どちらかといえば不満」と回答しています。
3. 子どもが戸外遊びを十分にしているかについて、「不満」「どちらかといえば不満」が12%あります。自由意見の中にも、戸外遊びが減ったのではないかという意見も出ています。
4. 送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明について、「どちらかといえば不満」が20%あります。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	14%	57%	18%	11%	0%	0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への共感	共感できる	まあ共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	共感できない	無回答
	65%	32%	3%	0%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	54%	30%	2%	0%	14%	0%
その他:						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	55%	30%	11%	2%	2%	0%
その他:						
園の目標や方針の説明には	64%	27%	7%	0%	2%	0%
その他:						
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	64%	27%	7%	2%	0%	0%
その他:						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	46%	43%	9%	2%	0%	0%
その他:						
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	78%	18%	2%	2%	0%	0%
その他:						

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	41%	50%	7%	2%	0%	0%
その他:						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	33%	57%	4%	4%	2%	0%
その他:						

問4 日常の保育内容について

遊びについて	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や園の遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	50%	36%	7%	7%	0%	0%
その他:						
子どもが戸外遊びを十分しているか については	39%	27%	18%	14%	2%	0%
その他:						
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	47%	39%	7%	7%	0%	0%
その他:						
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	21%	43%	18%	14%	4%	0%
その他:						
遊びを通じた友だちとの関わりや、 保育士との関係などについては	38%	48%	7%	7%	0%	0%
その他:						
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	34%	50%	14%	0%	2%	0%
その他:						

生活について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食のメニューの充実については	84%	16%	0%	0%	0%	0%
その他:						
お子さんが給食を楽しんでいるか については	84%	14%	2%	0%	0%	0%
その他:						
基本的な生活習慣の自立に向けての取 り組み	62%	30%	4%	2%	2%	0%
その他:						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	64%	32%	4%	0%	0%	0%
その他:						
家庭と協力し、お子さんの成長に合 わせて柔軟に進めるなど、園でのお むつまじしへの取り組みについては	53%	25%	4%	4%	14%	0%
その他:						
お子さんの体調への気配りについて は	64%	27%	9%	0%	0%	0%
その他:						
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	45%	30%	16%	9%	0%	0%
その他:						

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
園舎、園庭などの施設については	50%	43%	7%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	51%	45%	2%	2%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入に対する備えについては	57%	34%	9%	0%	0%	0%
	その他:					
衛生管理や感染症対策については	66%	34%	0%	0%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	45%	48%	0%	7%	0%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	58%	34%	4%	2%	2%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50%	39%	7%	4%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	27%	41%	23%	9%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	44%	34%	11%	9%	2%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	55%	32%	7%	2%	4%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	84%	14%	2%	0%	0%	0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	63%	30%	7%	0%	0%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	76%	16%	4%	4%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	51%	32%	4%	9%	4%	0%
	その他:					
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	66%	18%	9%	7%	0%	0%
	その他:					
不満や要望への対応については	68%	20%	4%	4%	4%	0%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	55%	34%	7%	4%	0%

観察方式による利用者本人調査

(アスクさいど保育園)

平成27年3月9日・11日

◇0歳児

(遊び)

室内には大型のブロックで作られたサークルができています。そのまわりで子どもたちはよちよち歩きながら遊んでいます。高さ10センチメートル、幅5センチメートル、周囲3メートル程度のサークルの中に子どもが一人、ブロックを危なかしい格好でまたいで入り込みます。職員が「すごいね!」と、声をかけると、子どもは喜んでサークルの中で動きまわっています。それを見ていた別の子どもは、真似て足を上げてブロックを超えようとしますが、失敗してしりもちをついてしまいました。起き上がって再び挑戦して、今度はサークルに入ることに成功して、興奮しています。先に入った子どもはブロックをまたいでサークル外に出ました。そのときブロックにつまずいて、ブロックを壊しました。職員は「大丈夫?」と声をかけながら、ブロックを直していました。子どもたちはブロックをまたいでサークルを出たり入ったり、大騒ぎになりました。

サークル遊びに参加しないで、二つ三つを組み合わせたブロックを持って、車に見立てて部屋の中を押して這いまわっている子ども、いくつかのブロックを持って、職員に何か言っている子ども、職員が優しく見守る中、それぞれ好きな遊びに夢中になっています。

(おやつ)

子どもたちは柵で仕切られた生活のスペースで、おやつを黙々と手づかみで食べています。ゆったりと食べています。職員もせかせる気配はありません。子どもの一人は柵の外に出て、走り回っています。柵の中で、活動的に立ち上がって本を持って遊んでいる子どももいます。全体的に子どものペースがのんびりと穏やかに時が過ぎている感じです。

◇1歳児

(遊び)

子どもたちは部屋の中で色々なおもちゃを出してきて、跳んだり跳ねたりしながら勝手に遊んでいます。電車、布の人形、アンパンマン、バイキンマンなどを持っています。バイキンマンを持っている子どもに、調査員が「それな〜に?」と聞くと、「バイキンマ〜ン」と答えてくれました。「バイキンマンが好きなの?」と聞くと、首を横に振ります。「何が好きなの?」と言うと、「アンパンマ〜ン」と元気に答えていました。隣にいる子どもがアンパンマンを持って遊んでいましたが、子ども同士がおもちゃを取り合う風もなく、穏やかにそれぞれ遊んでいました。

(排泄)

職員はトイレ誘導を主に排泄を促しています。トイレの前に集まって、パンツを自分で脱いでいたり、紙パンツを職員に取り換えてもらっている子どもなど様々です。トイレに座って排泄をしてい

る子どもがいたり、トイレで排泄できて職員に褒められている子どももいます。パンツを一人で頑張っている子どももいます。

◇2歳児

(遊び)

文字や絵のある積み木のセットに何人かの子どもが集まっています。積み木を取り出して重ねてみたり、並べてみたり、色々なことを始めました。職員は遊び方には一切口出しをせず、子どものなすがままに様子を見ています。

洗濯バサミのような色々な色のクリップをたくさん出して遊び始めました。複数のクリップで色々な形を作って見せびらかすと、みんなはどんな形に組み立てるか競争になりました。何十個の巨大な造形物を作って得意になっている子どももいました。

一人の子どもが自分の洋服に付けると、洋服をクリップで飾る競争が始まりました。職員に見てもらい、褒められて得意になっています。調査員のところにも飾りつけ、誇らしげに見せに来ます。

(読み聞かせ)

職員が子どもたちを集めて、本の読み聞かせを始めました。一人の子どもは部屋の隅にある手作りのソファに別の職員と一緒に腰かけて、積み木の一つを持って遊んでいます。読み聞かせは子どもたちで掛け合いながら進めています。内容が盛り上がると、一部の子どもは立ち上がって、読んでいる職員のそばまで行って、応えています。その歓声を部屋の隅から傍観していた子どもは、職員に誘われてみんなのところに走って行って参加し始めました。

◇3歳児

遊び

(ハンカチおとし)

保育室でハンカチおとしをみんなです。子どもたちはやる気満々です。職員の「お約束あったよね。どっちまわりだったかな？」の問いかけに手で左まわりを示しながら「こっちにまわるの！」子どもたちは手をつないで輪になって座り、いよいよハンカチおとしが始まりました。鬼になった子にはこにこうれしそうです。子どもたちはルールがよくわかっています。鬼になった子は走る子と、ゆっくりと歩く子とさまざまで。鬼は1周だけする約束になっていますが、2周回る子もいます。そういうときは職員は「忘れちゃったんだよね」と優しく話します。しばらくして職員が鬼になります。職員「誰にしようかなあ～」の聲に子どもたちはワクワクとしています。「まだ鬼をやっていないお友だちにしようかな」と言うと、子どもたちの間で「○○ちゃんやってないと思う」という声があがります。全員1回ずつは鬼になり、子どもたちは満足そうで元気いっぱいでした。

(粘土遊び)

ハンカチおとしの後は、粘土遊びです。机を出して1人ずつ粘土板を置いて粘土で遊びます。子どもたちは思い思いに好きなものを作っています。職員が「指輪を作ろう」と言って作っていると、子どもも「こうやって細くしてね」と言いながら作ろうとします。職員はやり方のヒントを伝えま

す。バラのついた指輪ができ、子どもたちは「わあ。バラだあ」と釘づけになります。「かわいい！○○にも作って！」と何人かの子どもは指輪づくりを始めました。できた指輪を調査員にも誇らしげに見せてくれます。雪だるまやフランスパンを作って職員に「上手だね」とほめられる子どももいてうれしそうです。

排泄

3歳児は活動の合間に職員が声をかけてトイレに行きます。3つのグループごとに廊下に出て順番にトイレに行きます。待っている間は手遊びをしています。ドアのないトイレもありますが、みんなドアのあるトイレを使っています。トイレが終るとみんなスリッパをきちんと揃えています。

(食事)

給食の準備です。子どもたちはピンクのおぼんを自分で取りに行き座って待っています。職員が給食を配ります。職員が「おなかと机がべったんこ（すきまが無く座る）しているかな」と声をかけると、子どもたちは姿勢を正します。給食のうたを歌って「いただきます」をします。箸の練習を始めたところで5、6人の子どもは箸を使い、他の子どもはフォークで食べています。足が横に出ている子どもに職員は「足は（ひざとひざが揃う）仲良しだよね」と声をかけます。職員も一緒に給食を食べ、子どもたちは会話を楽しんで食べています。

◇4歳児

(製作)

今日は紙粘土を使ってのクッキー作りです。机には一人ずつ粘土版とカップが置いてあります。職員が一人2色ずつの絵の具をカップに入れていきます。子どもたちは自分の好きな色を言って興味津々で待っています。職員が「手はぬれていないですか？」と念を押し説明をします。子どもたちはじっと職員の話聞いています。紙粘土を半分ずつ配られると早速に粘土を触ってみます。「ワア～、すごい」「紙粘土だ！」子どもたちはどの子もにこにこして丸めたり、平たく延ばしたりしています。クッキーの形になると絵の具をつけます。青と赤が混ざり紫になると、「ワッ!」「何？これっ!」と歓声を上げる子もいます。子どもたちは思い思いの形のクッキーを作り、色をつけていきます。「おもしろいね」「先生見て見て」と大はしゃぎで、どの子も夢中でじっくりと取り組んでいます。数字のクッキーを作る子もいます。職員は子どもたちに「お母さん喜ぶよ」「あまり混ぜすぎると変な色になるから気をつけてね」と声をかけます。花、ハート形、数字、顔など思い思いのクッキーができあがるとローカーに粘土板を置き、子ども同士で絵の具のついた手を見せ合います。子どもたちは洗面台で手を石鹸で洗います。「紙だからすぐに取りれるんじゃないかな」とつぶやきながら、にこにこしながら手を洗っていました。

(給食)

1月から当番活動が始まっています。当番の子どもは家から持参したエプロン、三角巾、マスクをしています。当番はテーブルを丁寧に拭いています。お茶を配るときは1つずつ慎重に配る子、2つ一緒に慣れた様子で配る子とさまざまです。職員は「配ってもいいですか」と声をかけます。給

食を配る間は静かに待つ約束になっており、少し騒がしくなると職員は「お約束は何だったかな」と促し、子どもたちは静かに待ちます。みんな揃っていただきますをします。4歳児はみんな箸で上手に食べています。グループごとに会話を楽しみながら食べています。

食後の歯みがきは手鏡を見ながら上手にしていました。

◇5歳児

(製作)

出席を取ると子どもたちはみんな元気いっぱい返事をします。壁には「げんきなあいさつ、おへんじ」と書かれています。職員は飛行機とロケットの絵を見せます。クレヨンで色を塗ることになりました。子どもの意見でロケットの色塗りに決まりました。職員は「ロケットの頭は何色がいいかな」「星はいくつ描こうかな」「他に何か描いてもいいからね」などと説明をします。子どもたちは「UFOも描く!」「赤!」「オレンジ!」「シマシマにする」「ミラクル!」など次々と活発に意見を言っています。子どもたちは集中してとても丁寧に色を塗っています。ロケットの頭の部分は1色ではなくいろいろな色で塗る子もいます。星もいろいろな色です。職員は「いいね!」とほめています。ロケットの周りを塗る子や小さいロケットも描く子、ロケットにいるロボットも描く子もいます。できあがると自分の好きな場所に貼っています。調査員に「これ私が描いた。ロボットもいるの。」「見て見て、これ僕の」と教えてくれました。

(給食)

子どもたちは就学に備えて上履きを履き、ポケットにはティッシュとハンカチも入っています。鼻をかむときは自分のティッシュを出して使っています。子ども同士で「このティッシュかわいいでしょ」と見せ合っています。手を洗うと給食の準備が始まります。

当番がごはん、味噌汁、おかずをよそいます。おかずを盛るとき子どもたちは当番の子どもに「少なめ」「いっぱい」などと言って量を自分で決めています。当番は上手に盛っています。みんなそろって「いただきます」をします。5歳児も会話を楽しみながらもりもりと食べています。生活発表会のときの話題になり、なぜ自分がその役を選んだのかをうれしそうに話す子どももいます。隣のグループでは、おもしろいことを言う子どもがいて大盛り上がりです。おかわりをする子もたくさんいます。どの子もにこにことして楽しい給食の時間でした。

平成26年度 横浜市第三者評価 事業者コメント（さいど）

【受審の動機】

アスクさいど保育園は、開園4年目を迎えました。今までの園運営を振り返り、今後の課題を見出すために有効な手段だと考え、毎年第三者評価を受審させて頂いております。開園初年度より、同じ評価機関に評価を依頼し一貫した調査を受けることで比較がしやすく、運営方針等も十分にご理解いただいた上で調査を実施していただけると感じています。今年度も、保護者のニーズを把握する絶好の機会、また、同時に職員が自己・自園を見直す良いきっかけになると考え、受審いたしました。

【受審した結果】

評価を受け、普段当たり前のようをしていたことを改めて認識し、自分たちの保育を見つめ直す良いきっかけとなりました。

今後の課題としては、戸外活動では、散歩、公園に出掛け、小規模な遠足を行うなど、自然に触れる活動を積極的に取り入れられる指導案を職員で考え取り組んでいきます。また、送迎時にお子様の一日の様子や怪我など、伝えなければならない事ができていませんでした。お子様を預かり、保護者に代わって子育てしているという意味を職員全員理解すると同時に、送迎時にどうしたら伝えていくことができるのかを話し合い改善していきます。

今後も基本理念を守り、安心してお子様を預けて頂けるように努力して参ります。

アスクさいど保育園
原田 君枝